

平成24年度 第1回男女共同参画を進めるパートナーシップ委員会
(要点録)

- 1 開催日時 平成24年7月12日(木)午後3時30分～5時45分
- 2 開催場所 市役所別館 3階 第1会議室
- 3 出席者 委員12人(2人欠席)、市長、事務局3人、あいさつ:市長
- 4 議事等

事務局

定刻になりましたので、はじめさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

ただ今から、平成24年度第1回 長浜市男女共同参画を進めるパートナーシップ委員会を開催いたします。

なお、本委員会につきましては、「附属機関等の会議の公開等に関する要綱」により会議の公開が原則となっております。本日の会議につきましても公開させていただくこととなりますので、こちらに傍聴者席を設けております。

また、会議内容につきましては録音させていただきますのでご了承願います。

平成24年5月末日の任期満了に伴い、今回改めて14名の皆さまに委員としてご就任をお願いしております。

それでは、市長より委嘱状をお一人ずつにお渡しさせていただきます。委員の皆さまは、順番に自席で立っていただきますようお願いいたします。

(委嘱状交付)

開会にあたりまして、市長よりご挨拶申し上げます。

(市長挨拶)

市長

本日は委員の皆さまには何かとお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

今日は資料以外に印刷物を2種類用意させていただきました。

「長浜市政ほっとニュース」というものと「戦国大河ふるさと博」のちらしです。

(ふるさと博のPRの後、市政ほっとニュースについて説明)

数々の問題もありますが、合併後の長浜市のまちづくりということで、開かれた長浜市行政を進めていきたいと思っております。その中で、一つの大きな柱として、今日は男女共同参画を進めるパートナーシップ委員会を開催し、長浜市の行政の真正面に据えまして、「男女の人権が等しく尊重され、誰もがいきいきと活躍でき、お互いが支えあいながら、喜びも責任も分かち合える社会」を実現するため頑張って参りたいと思っております。委員の皆さまには自由で活発なご意見をいただき、行

政に反映させていきたいと思います。委員の皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまして挨拶といたします。

今日もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

市長ありがとうございました。

これから委員様の自己紹介に移っていきますが、この後市長は公務がありますので退席させていただきます。

では自己紹介に移って参ります。(まず、事務局から、続いて委員の皆さまも順に自己紹介していただく)

委員の皆さまには2年間お世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。

ここで、今日配布資料の確認と、本委員会の説明をさせていただきます。

(資料確認、委員会の説明)

それでは議事に入らせていただきますが、委員長が選出されるまでの間は、事務局の方で進行させていただきますのでよろしくお願いいたします。

まず、要綱に基づきまして、本委員会の委員長、副委員長の選出に入らせていただきます。

委員長は、委員会設置要綱第4条により、委員の互選により決めることとなっております。どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。

ご意見がないようでしたら、事務局の方でご提案させていただいてよろしいでしょうか。

委員

異議なし

事務局

委員長に「京樂真帆子さん」副委員長に「月ヶ瀬義雄さん」をお願いしたいと思います。

(拍手)

事務局

委員長席をお願いします。それではここからの進行は委員長をお願いします。

委員長

みなさんの活発なご意見を願いますとともに、2年間お願いします。時間がおしておりますので、早速議事に入っていきたいと思います。

では、議事の②長浜市男女共同参画行動計画の進捗状況について、事務

局から説明をお願いします。

事務局 (長浜市男女共同参画行動計画概要版、資料1、資料2により説明)

委員長 ありがとうございます。

24年度の目標は達成されたのでしょうか。それぞれの数値目標が出ておりますが、全体から見た事務局としての印象はどうでしょうか。

事務局 少しずつではありますが進んでいると感じております。

委員長 こういう目標を出していくと進みやすいということですね。

では、議事の③と④行動計画の改訂およびスケジュールと市民意識調査の結果について事務局の説明をお願いします。

事務局 (資料3について説明。市民意識調査の結果についてももう少し分析し、委員の皆さまに送付する予定と伝える。)

委員長 ありがとうございます。ここが、今日のとても大事なところですが、計画の案を作っていくために私たちが意見を出す機会は2回です。9月の郵送で送っていただくことと、10月の2回目の委員会です。1月に3回目の委員会がありますが、これは計画がほとんど出来上がっての微調整になると思いますので、実質2回です。そのための議題がアンケート調査の結果等々なのですが、これは概要版(カラー印刷のアンケート集計結果の一部を指して)ですが、是非こんなデータがほしい、こんな分析をしてほしいということがありましたらお願いします。

委員 アンケートの比較ですが、前回のものと全項目比較できるのでしょうか。

事務局 アンケートの設問は前回と全く同じではないのですが、例えば考え方ですか、キーになる設問を設けてありますので、5年前と比較することはある程度はできると思います。

委員 Qの「男は仕事、女は家庭という考え方について」という設問について(資料3のカラー印刷のページのこと)、補足をつけるとよいと思います。男は仕事、女は家庭・育児という強制力を働かせてはいけませんが、本人の意思が尊重されれば良いことだと思いますので、強制される問いかけはどうかと思います。

事務局 確かに女性が育児をすることに対して否定する方向にもっていくことはいけません
が、いろんな考え方の人がいるのが理想なのかなと思います。設問の文言に
配慮したいと思います。

委員 これはこうあるべきだということになれば、強制になるので大きな問題ですよ。

委員 働く女性も増えてきていて、女性にだけ比重がかかるとストレスになるし
子育てに対しても話し合える家族がいるとよいのですが、自分だけで悩んでしま
う人も多いので、もっともっと地域で気軽に相談し合える場があるといいと思
います。

委員長 アンケートにもありましたが、男性も育児に参加したいという意思はあるが、実
際はできないところなど、どのようにしてこれを解決していくのかを考えるのがこ
の委員会の仕事ですので、このあたりの分析を事務局でお願いしたいと思
います。

委員 設問の仕方として、まだまだこのような意識があり、こうやった方がよいというよ
うな誘導を感じます。このような設問があるということは、答える方も難しいと思
います。

委員長 誤解されているようですが、これはアンケートの問27のことですよ。この設
問にはお2人が懸念されているような誘導は入っていないと思います。事務局
はアンケート結果をまとめられる時は、実際されたアンケートどおりの設問を書
いていただいた方が、誤解を受けることもないと思いますのでお願いします。

事務局 このカラー版の設問は“「男は仕事、女は家庭・育児」という考え方について”
と言葉を略して他を強要しているような感じに受け取られるので、改めたいと思
います。

先ほど委員長がおっしゃいましたが、意識は変わっているのだけれども、行動
に結びつかないのに何があるのか、仮説をたて対策を考えていきたいと思
います。例えば、本音と建て前があって男女共同参画と言いながら、わかっ
ても行動しないというのか、意識はあるが行動が伴わないのは、男性が長
時間労働で仕事中心になっているのかどうかといった原因を分析して、ワ
ークライフバランスを啓発していく必要があるということに結び付けてい
きたいと思います。

委員 子育て世代はそういう考えを持っておられると思います。若い人の考えが変わっていけば社会全体が変わっていくと思うので、年配者の意見は関係ないと思います。アンケートの答えも年配者の意見を気にする必要はないと思います。

事務局 昨年旧6町で地域の女性団体に聴き取りを行った時のお話では、家庭の中でも親世代と同居していると、子育て世代と意見がかみ合わないというご意見もありました。

委員 女性が育児をしなくても良いという方向に持っていくのはどうかと思いますので、そういう施策はしてほしくありません。女性は将来の人間を育てる大事な人ですから。

事務局 女性だけが育児を負担しなければならないことから、いろいろな問題が生じていると思います。一方で、育児が大切ではないと思われるようなことにならないように、注意したいと思います。

委員 認知症キャラバンメイトとして小学校に行っていますが、南に行くほど核家族が多いですが、長浜はまだおじいちゃん、おばあちゃんと同居の人が多いです。先ほど委員さんが年配者の意見は関係ないとおっしゃいましたが、祖父母と同居の世帯が多い中、家庭の中でも祖父母の言うことは無視できない重要なことです。

委員 おじいちゃん、おばあちゃんがいる家庭の方が若い世代が働きやすいということもあるし、核家族ならお互いが協力しないとやっていけないし、共働きだから子どもをいい加減に育てているわけではないですし、いろいろです。

委員 祖父母と同居の子どもさんは落ち着いていて社会的な仕切りができています。年配者と協力できるところはする、できないことは周りが作っていくことがアンケートの考えだと思うのです。

委員 長浜でも地域によってアンケートの答えは変わってくるのではないかと思います。

委員長 アンケートの中でも、長浜の地域差のデータがでてくればと思います。ご意見がありましたら、また事務局にお願いします。

それでは続きまして、⑤の平成24年度の主な取り組みについて事務局から説明をお願いします。

事務局 (説明)

委員長 ありがとうございます。標語の募集ですが、これは今年度の新しい事業ですが、実施に至った背景などの説明をお願いします。

事務局 まだまだ「男女共同参画」という言葉でさえ聞いたことがないというアンケート結果もありましたので、効果的な啓発を考え標語の募集をさせていただくことになりました。先ほどの企業アンケートの設問にもありましたように、こういう言葉を知っていますかというところから入らなければならないのかと思っています。

委員長 新しい試みですので、是非成功させたいと思いますので皆さまご協力をお願いします。

委員 これは全国的なものですか。

事務局 いいえ、国や県でもやっておりますが、市でやるのは初めてです。昨年行ったのは人権啓発グループの方で「私からのメッセージ」を募集させていただきました。啓発物品に作品を印刷して街頭啓発に活用しようと考えております。

委員 先ほどの、アンケートの結果で年配者の意識が変わってないと言われたのに、今年の取り組みにこういったアクションが起こせてないのはどうしてですか？若者の意識は変わっているのにその取り組みはして、年配者向けの取り組みをしないとはどういうことか、と思いました。

事務局 先ほどの庁内の組織の中で関係課がありますので、高齢者や福祉の中に視点を入れて、うちの課単独でするには組織も小さくてなかなかできないので、他の課がやる事業に相乗りしていく形で相乗効果を発揮して進めていきたいと考えております。

委員長 いろんな意見が出ましたが、事務局の方でまとめていただきまして、行動計画の改訂に向けて意見を反映させていきたいと思います。

委員 最後によろしいですか。「長浜市では今後どのようなことに力を入れていくべ

きか」という間で、選択肢の中に「挨拶」とか「礼儀」を入れるべきだと思います。アンケートの中で教育していくことをしていかないと一番肝心の礼儀とか挨拶が抜けてしまっていると思います。福祉的なことよりも先に、相手を尊重する原点は挨拶をすることです。子どもたちに礼儀作法を教えていくと、自然に男女共同参画社会もできていくのではないのでしょうか。

委員 今企業に行かせてもらっているが、企業によって教育の違いが大きいと思います。

委員 今の教育は、知らない人としやべってはいけませんと教えていますから、子どもは自分から知らない人には挨拶はしませんね。でもこちらからすると挨拶をしてくれます。これは一番肝心なことです。

委員長 ご意見がいろいろ出ておりますが、時間も過ぎておりますので事務局の方にお返ししたいと思います。

事務局 たいへん長い時間にわたりましてご審議いただきありがとうございます。閉会にあたりまして、課長から一言お礼の言葉を申し上げます。

課長 長時間にわたり、また節電で暑い中、熱い議論をしていただきありがとうございました。最後は人権にも通じる挨拶、規範意識を育てるという、子どもだけでなく、大人が実践していかななくてはならないというところを男女の施策に中にどうやって反映させていくかというご意見もいただきました。アンケートでは一方通行なので、こういった議論の場でいろんなご意見をお伺いすることが大変参考になります。

本日はありがとうございました。

事務局 次回は10月に集まっていただきますが、それまでに素案等送らせていただきます。また、いつでも結構ですので、お気づきの点、ご意見などありましたら人権施策推進課までお願いします。

(閉会)